2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-1-2

事務事業名	人材育成支援事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☑ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

芽室町の将来を担う小・中・高生及び個性的な町づくり形成のため活動するグループや指導者等の人材育成を図るため、国内・海外研修や交流事業に対して助成する。また、熱中小学校芽室サテライト事業への支援や、白樺学園高校の探究授業への支援などを行い、まちづくりの核となる人材育成を図る。

事業の課題として、熱中小学校への芽室町の参加者が減少傾向にある。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

少子高齢化・人口減少が進んでも活力を維持するためには、住民が主体となった活動が重要であり、そのための人材育成を積極的に進める必要があり、今後についても、制度の周知や利用しやすさを図る。

熱中小学校について、町民の興味関心を引く周知方法や媒体を検討し参加者の増加を目指す。参加した方には、まちづくりに携わる一員として官民問わず各種まちづくり事業の参画できるよう情報提供、声掛けをしていく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	248,830	1,028,543	3,226,935	1,058,000	3,058,000	1,058,000
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円	248,830	1,028,543	3,226,935	1,058,000	3,058,000	1,058,000

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	5-1-2

事務事業名	町内会等活動支援事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約	町内会加入促進と活動活性化支援		

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)

町内会等（市街地は町内会、農村部は行政区）の活動を支援する。
①自治振興報償費（行政からの依頼に基づく推薦、取りまとめ等の自治活動に対する報償）の支給
②市街地町内会連合会が実施する事業の一部に補助金を支出
③地域担当職員制度を活用し、地域と行政をつなぐパイプ役として各地域に職員を担当させ、業務の一環として積極的に参加する。

2. 対象(何を対象にしているか)

町民
町内会（市街地町内会連合会）
行政区

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

行政からの依頼に基づく行政事務の周知、委員等の推薦、地域要望の取りまとめ等、調整の役割を担ってもらい、それに対して報償を支給することで自治活動に繋げる。また、多くの職員が地域活動に参加し、町民との対話の機会を確保することを通じて、信頼関係を構築する。

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)

行政結果や活動支援制度の周知により、住民の最も身近な自治組織である町内会等の自主的活動を推進することで、地域活動を活性化し、協働のまちづくりに結びつける。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	自治振興報償申請件数	件
②	市街地町内会連合会補助金金額	円
③	地域担当職員の地域での活動回数	回

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町内会数	団体
②	行政区数	団体
③	活動単位となる地域の数	区域

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	町内会等加入率（4/1時点）	%
②	1地域当たりの平均活動回数	回
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	地域活動に参加している町民の割合	%
②	活動を行った職員の割合	%
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳			単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金		円						
	地方債		円						
	その他(使用料等)		円	1,569,775	1,949,420	2,164,210	2,418,000	2,418,000	2,418,000
	一般財源		円	4,882,100	4,820,244	4,727,512	5,393,000	5,393,000	5,393,000
	事業費計		円	6,451,875	6,769,664	6,891,722	7,811,000	7,811,000	7,811,000
活動指標		①	件	86	86	85	85	85	85
		②	円	1,569,775	1,949,420	2,164,210	2,101,000	2,101,000	2,101,000
		③	回	122	108	137	137	137	137
対象指標		①	団体	48	48	47	47	47	47
		②	団体	38	38	38	38	38	38
		③	区域	61	61	61	61	61	61
成果指標		①	%	56.6	55.1	52.7	51.1	51.1	51.1
		②	回	2.00	1.77	2.24	2.24	2.24	2.24
		③							
上位成果指標		①	%	38.8	40.2	43.6	43.6	43.6	43.6
		②	%	—	—	—	—	—	—
		③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

市街地町内会は、少子高齢化、核家族化への進行、価値観やライフスタイルの多様化など、地域コミュニティの希薄化が危惧されている。このような中、令和元年度には、町と市街地町内会連合会とで連携協定を結び、加入促進と町内会活動強化のための支援体制の充実を図ることとしており、具体的な行動を実施していくところである。しかしながら新型コロナウイルス感染症により町内会活動が停滞し、会員減少、役員の固定化など課題に拍車がかかってきている。

また町内会加入者だけが負担する各種負担金（消防団、生活環境推進会、社協など）について町内会連合会から見直しの要望がある。

2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法)

今年度は町内会の見える化、町内会同士の横の連携、コミュニティ活動の活性化（加入促進、共通業務の効率化など）につながる改善、有効となる方策を町内会(連合会)と協働して検討・実践していく。

活動強化のための支援体制については、フラワータウン運動のように、活動を通じて地域コミュニティの強化につながるような活動に対し、積極的に町としての役割を果たしていく。

若い世代が参画する地域コミュニティの運営手法を学ぶため、町内会の役員等を対象にセミナーとワークショップ形式の町内会等活性化セミナーを開催し、町内会の課題解決を図っていく。

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-1-2

事務事業名	町民活動支援センター運営事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☑ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

令和3年度から活動拠点を中央公民館に移し、運営委託団体を公募により決定している。町づくり団体の育成・支援・相談という当初の役割から、個人・団体のつなぎ、行政と町民とをつなぐコーディネート機能を担っている。今後も多様化する住民活動をサポート・コーディネートするとともに、新たな社会課題の解決、コミュニティ活動の強化支援など、さらに高度、専門的な役割・知識が必要になってきている。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

運営委託団体においては、情報収集・発信機能、交流連携機能、活動支援機能、人材育成機能を発揮していただいているが、運営内容も多様化してきていることから、今後も継続して運営会議などを通じて、意見交換を密に行う。

町の理念と方針を運営に充分反映させるよう努め、センターが発信している情報について町でも共有して発信を行う。

公民館へ移転し、来訪者が増加したことで今までの活動の継続・発展につながっているため、今後も公民館での活動の際に課題(公民館の活用方法・営利に関する活動等)が出た際は解決を図っていく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	1,935,874	345,001	715,652	639,000	639,000	639,000
	一般財源	円	5,125,000	7,313,520	7,276,879	8,283,000	8,283,000	8,283,000
	事業費計	円	7,060,874	7,658,521	7,992,531	8,922,000	8,922,000	8,922,000

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-1-2

事務事業名	盆踊実行委員会運営支援事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☐ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☑ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

伝統文化としての地域行事である盆踊りを通じ、住民にふるさとの良さを感じてもらい、短い夏のひとときを楽しむことを目的に始まった。芽室町・芽室町農業協同組合・芽室町商工会・芽室町市街地町内連合会の4団体が幹事となり、実行委員会を形成して運営している。

今後、出店者や運営者の担い手不足が懸念されている。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

令和5年度に4年振りに駅前ロータリーで開催し、実行委員・参加者共に好評であったことから、昨年度の開催方法をベースに、関係団体と連携し、持続可能な方法で開催していく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	160,000	160,000	180,000	180,000	180,000
	事業費計	円	0	160,000	160,000	180,000	180,000	180,000

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-3-2

事務事業名	揖斐川町交流推進事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約	交流・関係人口の増加「芽室町の応援団づくり」		
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☑ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

芽室岐阜県人会が、平成14年3月に「ふるさと訪問ツアー」として、揖斐川町を訪問したことがきっかけで、行政と県人会の2つの窓口が、それぞれの立場で交流をしていた。平成18年5月には友好提携を結んだことにより、本事業が開始され、平成20年度には県人会との協議の結果、揖斐川町に対する交流窓口を行政に一本化した。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

町民同士の交流として、芽室町と揖斐川町の小学生が、互いの町を訪問しており、その際のホームステイは、芽室岐阜県人会が調整役を担っているが、県人会会員の高齢化などにより、ホームステイ受入れが負担になってきているため、今後は、県人会の世代交代やめむろ農家民泊研究会、芽室町指導農業士・農業士会等の関係団体との連携による町としての協力体制を築いていく。

また、 継続的な派遣小学生の相互交流の実現に向け、派遣・受入業務に関して生涯学習課と連携を図りながら実施していく。

両町の交流を促進するため、2019年度から職員の人事交流を開始した。（人事交流に係る予算は職員研修で対応している。）これらの職員交流も活かし、双方町民の人的交流、経済交流を念頭に、双方の町において観光物産協会などでの物産販売、ふるさと納税などのコラボレーション商品企画など、町民・企業などを巻き込んだ形の事業実施をし、それらを積極的なPR・報告をする。また、担当同士の定期的な打ち合わせを行い、両町にとっての交流事業の意義と成果の向上を求めていく。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	366,366	437,400	441,475	473,000	473,000	473,000
	事業費計	円	366,366	437,400	441,475	473,000	473,000	473,000

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-1-2

事務事業名	NPO連絡調整事務	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☑ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☐ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

北海道からの権限移譲を受けて実施している事業であり、町内のNPO法人に関して、設立認証や解散の手続き、事業報告書の受理を行う。
またNPO法人設立についての相談が寄せられた際には、その設立をサポートする。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

法律等に基づき各種手続きを行う。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円						

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-3-1

事務事業名	うみとやまのふれあい交流推進事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☑ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

友好都市提携を結んでいる広尾町との交流推進を図るため、協議会を設立し交流事業を行っている。主な交流事業は、広尾毛がにまつり、氷灯夜等における物販(隣接ブース)と、互いの広報誌への寄稿と本町独自事業として、広尾町から寄贈された松(サンタツリー)へのイルミネーション点灯を実施している。

広尾町との友好都市提携の事実を知っている町民の割合が住民意識調査調査では上昇しているが60%未満である。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

昨年度と同様に人的交流、経済交流を念頭に、双方の町において観光物産協会などでの物産販売、ふるさと納税などのコラボレーション商品企画、広尾町から贈呈された芽室駅前サンタランドツリーを活用したまちなかの賑わいづくりなど、両町交流が盛んになり、認知度が向上するよう活動を進めたい。令和8年度に周年事業を行う。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	181,363	168,025	99,000	99,000	99,000	99,000
	事業費計	円	181,363	168,025	99,000	99,000	99,000	99,000

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	5-3-1

事務事業名	シティプロモーション推進事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約	交流・関係人口の増加「芽室町の応援団づくり」		

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
シティプロモーションという道具を使って、芽室町に対する「想い」や「意欲」を持ったマチに住む人たちや、マチに関わる人たちが動き出す。役場だけに頼らない、役場だけでは解決できない、役場では解決できないようなことを、こういう人たちの働きによって解決しようと動き出す。そのためにシティプロモーションを活用する。

2. 対象(何を対象にしているか)
すべての町民
芽室町に関心のある町内外の方

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
町の魅力を知り、体感し、その魅力を発信し、町の魅力を一緒に育てていく

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
芽室町が内面から輝き、柔軟性や多様性がある魅力的な町になる。
住民や芽室町に関心のある人による、主体的な町づくりにより魅力ある芽室町が持続する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	芽室町が好きですか	%
②	今後も住み続けたいですか	%
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	芽室町の人口	人
②	ホームページの日平均訪問者数	人
③	SNS等のフォロワー数	人

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	芽室町を推奨したいと思う町民の割合	%
②	芽室町の活動に参加してみたいと思う町民の割合	%
③	芽室町をよりよくするために活動している人に対して、感謝したいと思う人の割合	%

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	地域推奨量	ポイント
②	地域参加量	ポイント
③	地域活動感謝量	ポイント

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円	494,000	450,000	4,375,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	1,313,242	815,000	4,800,000	5,348,000	5,048,000	5,348,000
	一般財源	円	4,238,434	2,688,430	7,570,624	4,458,000	4,207,000	4,458,000
	事業費計	円	6,045,676	3,953,430	16,745,624	14,306,000	13,755,000	14,306,000
活動指標	①	%	94.3	95.8	91.6	95.0	95.0	95.0
	②	%	94.6	94.1	92.7	95.0	95.0	95.0
	③							
対象指標	①	人	18,117	17,983	17,837	17,837	17,837	17,837
	②	人	745	850	910	1,000	1,100	1,200
	③	人	4,804	5,162	5,851	6,350	6,850	7,350
成果指標	①	%	28.0	25.0	23.3	50.0	55.0	60.0
	②	%	20.0	11.8	13.9	40.0	45.0	50.0
	③	%	70.0	65.7	60.4	81.0	85.0	90.0
上位成果指標	①	ポイント	23	14	−7	5	10	20
	②	ポイント	−12	−35	−37	−20	−10	0
	③	ポイント	120	125	124	130	135	140

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題
人口減少、少子化、若年人口の流出など、将来の地域の担い手不足は本町においても喫緊の課題となってきている。
事業を開始して4年が経過し、いろいろな町民の動きが出てきており、郷土愛、シビックプライドの醸成につながっている。
一方でファシリテーターの活動の場の確保、台東区墨田区との連携事業の今後の展開、令和7年度完結予定のPR番組の放映内容の検討、地域ブランディング事業の実働部隊となる組織の育成と地域内経済循環・外貨獲得のための仕組みづくりを行う必要がある。

2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法)
自治基本条例に基づく主権者意識を持った人財育成としてのファシリテーター養成とファシリテーターの活用に向けたPRを行う。
台東区墨田区連携事業では食の交流に向け墨田区と連携し食育全国大会に出場するとともに、各事業との連携による持続可能な関係人口交流人口の仕組みづくりを行う。
PR番組では、「チャレンジめむろ」をテーマに、芽室町のヒト、モノ、コトを発信することでチャレンジする風土を醸成するとともに、情報発信媒体として活用することで関係人口交流人口の獲得を図る。
地域ブランディング事業では、生涯顧客の獲得に向け、稼ぐことのできる商品・サービス開発の継続及び域外の誘客受入のためのイベント開催・域外出店、これらを担うサプライチェーン運営組織の育成を進める。

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-3-1

事務事業名	ふるさと会活動支援事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約	交流・関係人口の増加「芽室町の応援団づくり」		
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☑ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

横綱大乃国の夏場所優勝をきっかけに誕生した東京美生会を前身に昭和62年6月に東京芽室会発足し、現在4地域・団体が活動している。各ふるさと会は定期総会や交流会等の開催、会報発行、ホームページでの活動紹介などにより、ふるさと会の親睦を深めている。また、ふるさと会とは企業誘致に関する情報交換を行ってきた経過もある。各会共に会員の高齢化が進み、会員の減少、会の持続・存続、役員交代、財源確保などが課題となっている。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

会員相互の親睦と交流を目的とした活動を実施している各ふるさと会に対して報償を支出し活動を支える。一方で町は郷土愛に基づく組織として活用し、ふるさと納税・来町・商品購入などを促して芽室町の経済活性につなげていく。

町広報誌等を通じたふるさと会の存在、目的・活動状況を町民に対して周知を行い、家族、友人、知人の加入につなげる。また、ふるさと会の会員減少や高齢化などの衰退があることから、新たなプラットホームであるファンクラブサイトの開設を行う。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	79,992	63,832	67,165	69,000	69,000	69,000
	一般財源	円	390,007	419,318	513,125	472,000	472,000	472,000
	事業費計	円	469,999	483,150	580,290	541,000	541,000	541,000

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（通常）

総合計画施策番号	5-3-1

事務事業名	まちなか再生推進事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約	まちなか再生 まちなかイベント、集いの場の創出		

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
まちなか再生ビジョンの5つのプロジェクトの実現に向け、まちなかに直接的な効果を生む政策及び町内全域の魅力と連動し、まちなか活性化に波及させる事業を実施する。

2. 対象(何を対象にしているか)
まちなかで夢を実現したい相談者

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)
・まちなかチャレンジ相談窓口相談者の実現
・まちなかエリアの空き物件等のマッチング

4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか)
芽室町が内面から輝き、柔軟性や多様性がある魅力的な町になる。
住民や芽室町に関心のある人による、主体的な町づくりにより魅力ある芽室町が持続する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
（必ずしも3つの指標を設定する必要はありません）

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	まちなかチャレンジ相談窓口の相談件数（累計）	件
②	まちなかエリア空き物件等の相談件数（累計）	件
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	まちなかチャレンジ相談窓口の相談人数（累計）	人
②		
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	相談者の事業実施件数（累計）	件
②	空き物件等のマッチング件数（累計）	件
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	芽室町を推奨したいと思う町民の割合	%
②	芽室町の活動に参加してみたいと思う町民の割合	%
③	芽室町をよりよくするために活動している人に対して、感謝したいと思う人の割合	%

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円			1,142,240	2,530,000	2,530,000	2,530,000
	一般財源	円	0	0	19,600	4,661,000	4,661,000	4,661,000
	事業費計	円			1,161,840	7,191,000	7,191,000	7,191,000
活動指標	①	件			6	18	30	42
	②	件			0	6	12	18
	③							
対象指標	①	人			5	11	17	23
	②							
	③							
成果指標	①	件			0	2	4	6
	②	件			0	1	2	3
	③							
上位成果指標	①	%			23.30	40.00	55.00	60.00
	②	%			13.90	40.00	45.00	50.00
	③	%			60.40	81.00	85.00	90.00

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

かつての「賑わい」を失いつつある「まちなか」に、多様な人がチャレンジできる場をつくり、人が集い・たまり、人と人・場と場がつながり、住む人、来る人、働く人の笑顔が輝く、このまちの誇りとなる顔「新しいまちなか」づくりを行うため、「芽室町まちなか再生ビジョン」を令和5年度に策定した。

ビジョンの具現化にあたっては、異世代や町内外の人が集い、憩い、チャレンジできる「賑わいの場」となる拠点施設と、空き家、空き店舗、空き地を活用するための支援が不足している。また、魅力創造課にまちなか再生の相談窓口を設置したが、専門的知見による支援不足が課題となっている。

2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法)

拠点整備については、町内外の方が様々な目的で集える拠点の整備に向けたロードマップの作成に向け、庁内関係課や関係団体、民間企業等と議論を進める。

空き物件等については、流通・活用促進に向け、地域おこし協力隊の採用事務を進める。また、並行して活用希望者と所有者のマッチングに向けた支援を進める。

まちなか再生の窓口は、専門知識を有したアドバイザーによる支援等の実施に向け、まちなかエリアに窓口を増設する。

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-1-2

事務事業名	協働のまちづくり活動支援事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☑ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

住民との協働によるまちづくりを推進するため、町民自らが企画実施する公益的 な活動を支援するため、協働のまちづく活動支援事業を実施している。

町民や町民団体が安心して町民公益活動を展開するため、活動中の事故を補償する保険に加入し、町民活動総合補償制度を実施している。

農村部において地域活動を継続しているNPO上美生が継続的な支援を求めているため、支援方法等について検討が必要である。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

人口減少社会においては、住民の自主的な活動が必須であり、本事業が広く活用されることで、協働のまちづくりの推進が期待されるため、各種制度を広く周知し、町民主体の協働活動を支援する。

また、農村部における将来ビジョン実現のため、NPO上美生と定期的に意見交換を行い、庁内関係課と連携を図りながら活動の自立化に向けた支援を検討する。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円	44,000	48,400	24,700	28,000	28,000	28,000
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	2,260,766	2,480,021	727,360	1,053,000	1,053,000	1,053,000
	一般財源	円	4,563,010	567,740	480,940	522,000	522,000	522,000
	事業費計	円	6,867,776	3,096,161	1,233,000	1,603,000	1,603,000	1,603,000

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-1-2

事務事業名	公共サービスパートナー制度受付・調整事務	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☑ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☐ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

公共サービスパートナーは、従来、行政が担ってきた行政サービスを、住民で構成される団体に、有償で担ってもらう制度である。

町内会など、複数の公共サービスパートナーシップ協定を結ぶ団体も多いことから、本事業では、各係が実施する公共サービスパートナーシップの協定締結窓口及び調整を行う。

公共サービスに関する指示や支払は、協定後に各担当係から行うため、本事業は予算を伴わない。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

特に担い手となっている町内会は、会員の減少、担い手の高齢化の進展とともに、公共サービスパートナーを担えない会、重荷になっている会が出てきていることから、業務すべてではなく一部を担ってもらう、民間に移行する、町の直営に移行するなどの見直しをするために聞き取り調査を実施し、最大の効果を最小限のコストでできるよう検討していく。

現在、団体への支払いについて、試算・通知を魅力創造課で行い、担当課に合議にて確認いただき、担当課にて伝票起票をしてもらっているが、詳しい実施面積等については魅力創造課にて把握しきれてない部分があることから、支出事務については担当課で行ってもらうよう今年度中に整理する。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計	円	0	0	0	0	0	0

2024 年度 （ 2023 年度実績 ）事務事業マネジメントシート（簡易）

総合計画施策番号	5-3-2

事務事業名	国際交流推進事業	所属部門	魅力創造課　魅力創造係
町長公約			
簡易シートを選択した理由	☐ 予算を伴わない事業　☐ 計上予算が負担金・繰出金のみの事業　☐ 法定受託事務 ☐ 政策体系に結びつかない事業　☑ 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業　☐ 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

国際姉妹都市であるアメリカ・トレーシー市との交流を推進する。平成27年度に芽室町・トレーシー市交流協会が設立されたことから、協会と連携のもと、交流を継続・発展させていく。

令和元年度は、姉妹都市提携30周年事業として、町長、議長、芽室町・トレーシー市交流協会員等で構成された訪問団を派遣し、現地視察や記念植樹、姉妹都市協会員との交流を行った。

令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の流行により、丸3年以上リアルの交流ができない状況であったため、認知度の低下が心配される。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更になったことから、令和6年3月からトレーシー市への中学生の派遣を再開した。

令和6年度発祥の地杯全国GB大会にて、ブラジルゲートボール連合の訪問を予定している。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類へと変更になったことから、中学生交流事業を再開する。

令和4年度より開始した芽室町・トレーシー市交流協会の町内児童向け事業について、今年度以降の実施の意向を確認しながら、協力を行っていく。

トレーシー市との国際姉妹都市提携35周年に伴い、トレーシー姉妹都市協会との連携強化や交流事業の発展に向けた、令和7年3月予定の中学生派遣の際に協会員2人の同行派遣を支援する（5年に1回を予定）。

令和6年度発祥の地杯全国GB大会にて、ブラジルゲートボール連合訪問団の歓迎対応を検討する。

令和7年度にブラジルで開催される芽室杯ブラジルゲートボール大会に招待される予定のため関係者の訪問と芽室町チームの派遣を検討する。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円				389,000		
	一般財源	円	80,000	80,000	80,000	80,000	9,080,000	80,000
	事業費計	円	80,000	80,000	80,000	469,000	9,080,000	80,000